

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店（広報担当）	販売量の動き	・中旬に全面リニューアルオープンした食品フロアが新規客、既存客の拡大に貢献し、梅雨入り後も好天が続いていることで夏物アイテムを中心に婦人や紳士衣料が好調に推移している。前年のサッカーワールドカップ開催によるマイナス影響の反動も追い風となっている。
		家電量販店（営業統括）	単価の動き	・6月下旬になり、ようやく高額商品が売れてきている。テレビも新製品が出るたびに、値下がりを繰り返しており、価格は依然として厳しいものの大型高性能のテレビを購入する客が増加している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・収入面では昨年度との比較で100%であるが、一般団体の取扱が前年と比べて140%、個人旅行やパッケージの取扱は前年と比べて243%と、かなり数字を伸ばしている。
やや良く なっている		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・衣料品、雑貨等を中心に客の購入量、単価共に増えている。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・中元ギフトセンターの早期受注キャンペーンが奏効し、ギフト需要が好調である。各フロアで開催した上中位客対象の販売催事も好評で、ギフト以外の需要も喚起され、来客数が2年ぶりにプラスに転じている。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・客単価の上昇傾向がある。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・雨が少なく気温が平年以上に暑く、夏物ファッション衣料、雑貨から水着、浴衣を含めたリゾート商品まで活発に動き、来客数が前年比109%と増えている。
		スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・飲料、めん類、アイス等の夏の商品の販売数が伸び、前年を2%ほどクリアしている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が若干増えている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・単価は落ちているが販売数が増えているため、昨年に比べるとまだ売上が少ないが、3月に比べれば売上客数、点数共に上がっている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・天候が良く、来客数が10%ほど増加した。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・目的外商品のついで買いの増加、クールビズ商品の前年比販売量の増加が目立つ。
		衣料品専門店（営業担当）	販売量の動き	・夏物販売時期が年々早まっており、5月は最近7年間の中で最高の月間売上となった。気温が上がり6月も前年比107%で売上好調で、26か月連続で前年を上回っている。
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・総会後の役員会食が多くあり、来客数が大きく増加している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて大体同じだが、いつもの年よりは少し良くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・今月に入り間際での利用が増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの売上が好調である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・前半はあまり良くなかったものの、後半の給料日以降はカード及びチケット利用客が多く、その中には東京駅周辺から県外へ帰る長距離客も混ざっている。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	販売量の動き	・新型家庭用ゲーム機の販売台数が増加している。これに比例するようにソフトも販売本数が増加しており、特に携帯型のゲーム機は絶好調である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・先月の販売量は目標数字の50%以下とかなり落ち込んだが、今月は130%で達成することができた。ここ数か月は販売量が安定していない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・法人によるまとまった土地の購入及び収益物件の購入が目立っている。
		変わらない		商店街（代表者）

一般小売店〔C D〕（営業担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に昨年同時期に比べ大きな変化がなく、安定している。
一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	それ以外	・企業努力等いろいろな仕掛けをした結果、自社は昨年より売上が伸びているが、業界内では辞めてく会社もあり、業界全体としては衰退している。
一般小売店〔鞆・袋物〕（従業員）	単価の動き	・ギフト需要については、昨年以來2割ほどの販売単価が上昇しているが、実用品についての買い控えが見られる。先行の季節商材、夏物商品については非常に動きが良かったが、定番品や一般品の動きが悪く、セールを待っているような状況に見受けられる。
百貨店（総務担当）	お客様の様子	・購買態度における個人差が非常に大きい。
百貨店（営業担当）	販売量の動き	・入梅後雨が少なく気温が高いため、婦人服飾関連の動きが良く、UV関連商品を始め、水着、浴衣の動きも堅調である。例年であれば、クリアランスにむけプロパー商品の動きが弱くなるが、その傾向は見られず商品単価のアップにつながっている。一方で食料品の伸びは弱く、全体感としては前年並みである。
百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は減少し婦人服は売れ筋がなく、3か月前と比べて大きな変化がない状況である。
百貨店（業務担当）	それ以外	・売上の数値だけを見ると、売上総額は前年比及び予算額共にクリアしており、ある程度順調に推移している。商品の内容に目を向けると、常備品、普通品の売上が前年を相当下回った分を、セール品の売上でカバーしている状況である。ギフトセンター、お中元の方は、やや遅れていたが、ここきて前年並みに回復している。
スーパー（店長）	単価の動き	・暑さが厳しくなるにつれ、飲料、アイス等の水物商材の販売量が伸びてきているが、特売時にまとめて買う傾向が強く、全体的な単価の押し上げにはつながっていない。
スーパー（統括）	お客様の様子	・卵、しょう油の安売りなど、価格を強調したのものについては非常に飛びつきが良いが、価値訴求商品や高単価な商品についてはあまり購買動向を見せる様子はない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数の減少はないが単価がややダウン状況で、おにぎりや弁当から、パンや冷めん等へと、カテゴリ間の販売数移動があるが、根本的総数に変化は見られない。
家電量販店（経営者）	販売量の動き	・猛暑、空梅雨の影響により、エアコンが高機能タイプを中心に売れているが、テレビは今年のワールドカップの反動もあり状況は厳しい。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は以前とは変わらないものの、成約に結びつくのに時間が掛かっている。
住関連専門店（統括）	販売量の動き	・ボーナス時期に入ったが、ボーナス需要は見込まれず、数字は横ばいで推移している。
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	単価の動き	・買上単価はほぼ前年並みであるが、来客数は昨年と比べ2.1%伸びている。雨が少なく天候に恵まれているため、サングラスの売上が好調に推移している。
その他専門店〔服飾雑貨〕（統括）	お客様の様子	・週末を中心に来客数は順調に推移しているものの、買上率は比例しない。
一般レストラン（経営者）	それ以外	・開店以来の仕入業者が廃業したが、後継者不足、一般飲食業の不振、流通の変化等、同業も同じ問題を抱えている。
都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・3か月前と比較して、客の動きは変わっていない。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの個人利用については、昔からあった両家の顔合わせや一周忌などの利用に加え、誕生日、退職記念、結婚記念等の利用が少し増えているが、宴会場での法人利用は、会議だけで懇親会がなくなってきている。
旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・宗教法人の見積依頼の数があまり変わらない。

	タクシー（団体役員）	お客様の様子	・ウィークデ이의客の動きが悪く、駅構内営業、流し営業共に良くない。週末になると多少人の出が増えたように感じるが、週単位で見ると変わらない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・営業対策を検討し種々実行しているが、新規加入等は相変わらず厳しい。
	パチンコ店（経営者）	競争相手の様子	・ライバル店も来客数を取っており、お互いあまり変わらない。
	その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・プロ野球関連の商品やサービスに対するニーズは一段と高度化しており、対戦カードや曜日により人気のばらつきが大きくなっている。
	設計事務所（所長）	単価の動き	・仕事が前延ばしになっていて進捗が遅い。建築基準法の改正が思った以上に足かせとなっており、工事費も高騰している。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・中小企業は依然として低迷しており、上がる見通しがない。
	設計事務所（職員）	それ以外	・医療福祉施設分野の案件数に変化はみられないが、技術提携に伴う案件が若干出てきている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・土地の流通が悪く物件があっても売れないことから、その分販売棟数に影響が出ており、相変わらず建物の成約棟数は上がらない。
やや悪くなっている	一般小売店〔家具〕（経営者）	販売量の動き	・最近特に単価が非常に低く、高額商品がほとんど売れない。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・酒類販売のみのため来客数は少なく、料飲店への販売も不良である。
	一般小売店〔文房具〕（経営者）	来客数の動き	・毎年この時期はあまり動かない時だが、3か月前と比べるとかなり悪い。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	来客数の動き	・商店街の来客数が減っており、下げ止まらない。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	お客様の様子	・前年と比較すると大量注文の客の売上が減少している。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・使われる単価はあまり変わっていないが、再開発後に飲食店等が増え、客の選択肢も増えたので来客数がかなり減少した。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数は減っていないが、売上が減っている。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・客単価が昨年比で3割ほど低下し、売上も減少している。セット買いが減りシビアな単品買いが多く見られ、要らないものは購入しないという感じである。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・前年比で自動車販売台数が大分落ちており、需要が減退気味である。
	乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・6～7月は最需要期だが、来客数の減少及び買い控えが目立ち、新車投入も長続きせず前年比でも落ち込んでいる。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・トラック販売については、環境規制による車両の購入が一巡したこと、原油高により経営状態が悪く増車の手控えがあることなどから、この数か月は販売量が減っており、売上が2～3割落ち込んでいる。
	その他専門店〔雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・セール時期になってもあまり来客数が変わらない。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・団体旅行の見積件数は増えているが、受注件数は前年比90%で伸び悩んでいる。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・ボーナスシーズンを迎え、本来であれば新規加入とともに解約も減る傾向にあるはずだが、解約数が増加している。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・梅雨に入り6月は来客数が前年比85%で、15%ほど減っている。
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・住宅購入者の契約の決断ペースが遅く、紹介している仲介業者の販売力もかなり落ち、なかなか契約件数が増えない。インターネットを通じての客からの問い合わせは現地を見るまでの時間が掛かり過ぎている事もあり、金利が上昇局面にあっても客は全く慌てていない。	

	悪く なっている	その他小売 [生 鮮魚介卸売] (営業)	販売量の動き	・商品単価が例年より高騰していることが原因なの か、ゴールデンウィーク明けから販売量は下がる一方 である。
企業 動向 関連	良く なっている	—	—	—
	やや良く なっている	出版・印刷・同 関連産業 (営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・受注件数、売上共に前年同月の目標から3か月間で 約10%伸びた。入札案件は価格を下げなくても以前よ り落札件数が増え、価格の底上げ感がある。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・売れている商品と売れていない商品とがはっきりし ているが、売れている商品は今後も伸びそうである。
		一般機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・全体の受注量が少しだけ多くなっている。
		建設業 (営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・個人のマンション等の計画よりも、業績の良い企業 からの案件や発注が増えてきている。
		金融業 (審査担 当)	それ以外	・輸入企業においての円安、一般企業においての金利 上昇傾向が収益悪化要因となるも、依然資金調達意欲 はおう盛である。
		その他サービス 業 [ビルメンテ ナンス] (経営 者)	取引先の様子	・スポット作業だが受注件数が増えている。
変わらない	繊維工業 (経営 者)	取引先の様子	・取引先もあまり調子が良くないので変わっていな い。新しい取引先を探すのも非常に困難である。	
	非鉄金属製造業 (経理担当)	受注量や販売量 の動き	・先月と売上がほぼ同じである。	
	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・客の発注量はここ2～3か月変わっておらず、これ から先もあまり大きな予定はない。	
	電気機械器具製 造業 (経営者)	取引先の様子	・インターネットを通じて全国から多くの見積照会が あるが、成約率が30%前後と良くないことから、どち らとも言えない状態が続いている。	
	建設業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・仕事は増えたが、単価が上がらない。	
	輸送業 (経営 者)	取引先の様子	・現在は荷主の方で受注が取れたとことにより量が増 えており、いつその仕事なくなるか分からず良く なっていない。	
	輸送業 (財務・ 経理担当)	受注量や販売量 の動き	・通信販売の宅配における物量が横ばい状態である。	
	金融業 (審査担 当)	取引先の様子	・小売業は消費動向が依然として弱いため、売上が伸 び悩んでいる。一方、不動産業は近隣地価が上昇傾向 にあり、活発な動きを見せている。	
	不動産業 (総務 担当)	取引先の様子	・オフィス需要は3か月前と変わらずおう盛で満室状 態が続いており、テナントからの増床要望に応じられ ない状況である。	
	社会保険労務士 その他サービス 業 [廃棄物処 理] (経営者)	取引先の様子 受注量や販売量 の動き	・資金繰りの厳しい会社が多く見受けられる。 ・客の伸び率が鈍化してきているが、昨年同時期より 5%程度受注量の増加となった。	
	その他サービス 業 [情報サー ビス] (従業員)	取引先の様子	・4月以降少しずつではあるが、通信系設備投資の案 件に関する引き合い件数が伸びており、受注に向けた 取組が活性化してきている。	
	やや悪く なっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・需要が停滞している。
出版・印刷・同 関連産業 (経営 者)		取引先の様子	・得意先からの仕事の割合が非常に少なくなってい る。	
出版・印刷・同 関連産業 (総務 担当)		受注価格や販売 価格の動き	・低価格販売に加え原材料価格の値上げのため、利益 の確保が難しくなっている。	
プラスチック製 品製造業 (経営 者)		受注量や販売量 の動き	・前年同月比で、受注、納入共に20%以上ダウンして いる。	
建設業 (経営 者)		受注価格や販売 価格の動き	・材料関係が上がっている割には一向に受注単価は上 がらず、また一般入札は金額が合わず不調に終わって いる。	
輸送業 (経営 者)		受注量や販売量 の動き	・大企業については景気が上向きだが、この業界にお いては連休が終わって以降、荷の動きが活発でなく現 在低迷している。	

		金融業（支店長）	取引先の様子	・特に小売業、製造業等、取引先の会社の倒産率が上がってきており、今後景気は下向きになっていく。
	悪くなっている	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・得意先の事情による出荷計画の急きょ変更のため減産態勢となり、出荷量が減少している。
雇用 関連	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業側からの求人数が徐々に増えてきている。
		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・派遣の依頼が多くなっているが、紹介予定派遣の依頼も多くなってきており、直接雇用での採用に積極的になっている企業が増えている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数を増やす企業が増えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月比17%増加した。パート求人の割合が減少し、充足数も4か月ぶりに増加したが、派遣、請負求人の割合が高い状況が続いている。
		学校〔専修学校〕（就職担当）	求人数の動き	・求人獲得件数が前年度比で15%程度伸びている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・募集広告を打っても求職者が集まらないため、コストのみ上昇している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・今月は各業界とも、大きな求人数の変動はない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・依然求人数に衰えがないが、給料、時給の高いところは思い切ったセレクトをし、誰でも良いということはない。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・未経験でもそれなりに高待遇な仕事が増えてきている。派遣スタッフ側もより条件が良い仕事探しをしているため、待遇の悪い仕事は希望者が少なくキャンセルが多発し、結果成約数が伸びてこない。
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・5月の新規求職者数が15か月ぶりに前年同月を上回った。パート求職者数の増加傾向は以前から見られたが、一般常用も含め女性求職者の増加が目立ち、30～40歳台後半層の転職希望が活発になっている。	
民間職業紹介機関（経営者）		求職者数の動き	・前年同時期と比べると案件数が多くっており、短期的にみると下がっていないものの、特に顕著に良くなっているとも感じられず、変わらない。	
民間職業紹介機関（職員）		求職者数の動き	・求職者数、転職者数共に前年比での伸び率は下がっているが、依然として125%程度の水準で推移しており、減速感はあまりない。	
学校〔短期大学〕（就職担当）		採用者数の動き	・前年まではなかなか内定をもらえなかった企業から内定をもらっており、採用人数が増えている。	
やや悪くなっている	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は前年同期を上回ったものの、派遣、請負の求人が多く正社員の求人はやや減少している。また、建設業からの求人は引き続き減少傾向で推移している。	
	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・管理職クラスの中途採用は一巡し充足感が出てきている。新卒採用に時間と資金をとられているためか、スタッフクラスの中途採用決定に時間が掛かっている。	
	悪くなっている	—	—	—